

科目名	ビジネス実務						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	濱崎 志珠		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	空港にて国内線GSとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	就業を目前に、現場に適応した具体的かつ上級のマナーとビジネス知識を習得する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		社会に適応したマナーを身に付け実践することができる。	
	○	○		○		漢字の読み書きができるようになる。	
	○	○		○		接客に使う敬語を使えるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	実践ビジネスマナー プリント他						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	話し方 好印象の話し方 働くということ (労働者の権利と義務 離職の際に必要なこと 他)					
	2	新生活に向けて お金の知識(給与の仕組みと税金の知識)					
	3	敬語 敬語上級編					
	4	クレーム処理 難しいお客様対応, クレームの基本対応					
	5	電話対応① 電話対応 実践編					
	6	電話対応② 電話対応 実践編 伝言メモ					
	7	指示の受け方と対人コミュニケーション					
	8	職場の人間関係					
	9	報告・連絡・相談①					
	10	報告・連絡・相談②					
	11	ビジネス文書① 業務日報・報告書・メール・FAXの書き方					
	12	ビジネス文書② 社外・社交文書の書き方, 郵便・配送の知識					
	13	冠婚葬祭のマナー					
	14	社交マナー 個人宅訪問のマナー, お付き合いのマナー					
	15	キャリアプラン					
評価方法	(1)定期末試験(筆記)を実施する。 (2)課題を数回実施する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				60%
	出席率、提出物状況		○		○	○	40%
履修上の注意							

科目名	接客手話B						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	平嶋 光希		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	手話基礎編 具体的な表現を学び、豊かなコミュニケーションを身に付ける。実践的な手話表現の習得。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					聴覚障がいの基礎知識を学び、説明することができる	
	○					聴覚障がいの生活について理解を深め、説明することができる	
		○				手話の基礎を学び、実践することができる	
テキスト・教材 参考図書	手話で学ぼう手話で話そう / 手話技能検定(4, 5級) / 接客手話						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期の復習				基礎的な表現の復習(0.5時間)	
	2	チェックイン業務に挑戦				今までの手話を復習(0.5時間)	
	3	チェックイン業務に挑戦				今までの手話を復習(0.5時間)	
	4	自分の事を話してみよう①				自己紹介をまとめる(0.5時間)	
	5	自分の事を話してみよう②					
	6	得意な事を話してみよう①				自分の得意な事をまとめる(0.5時間)	
	7	得意な事を話してみよう②					
	8	好きな事を話してみよう①				自分の趣味や好きな事をまとめる(0.5時間)	
	9	好きな事を話してみよう②					
	10	仕事の話をお話してみよう①				自分や家族の仕事についてまとめる(0.5時間)	
	11	仕事の話をお話してみよう②					
	12	日常生活の事を話してみよう①				昨日、今日、明日の事をまとめる。(時間軸での会話) (0.5時間)	
	13	日常生活の事を話してみよう②					
	14	物語を読んでみよう				簡単なイソップ物語を選ぶ。(0.5時間)	
15	後期 まとめ				前期 後期の表現を使い スピーチに挑戦(0.5時間)		
評価方法	授業中の小テスト/実技により下記の観点、割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(読み取り)5回	○	○				30%
	小テスト(実技)6回		◎		◎		60%
	その他				○		10%
履修上の注意	項目とは別に接客手話も実践していきます。手話技能検定4級についても学習します。						

科目名	卒業研究					
科目名(英)						
単位数	1	時間数	15	担当者	江口・濱崎	
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	江口:国際線・国内線CAとして勤務 濱崎:GSとして勤務	
対象学科・学年	エアライン科2年					
授業概要	就職する業界の知識を更に深め、理解を深める為に、各自就職先に沿ったテーマを選び研究する。書籍やインターネット等を使用しながら知識を習得し、論文にまとめ、論理的思考も養う。また、最終の授業では発表も行う。聞き手にとって分かりやすく、自身の主旨が伝わる様なプレゼンテーションを行う。2年間の成果発表とする。					
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				定めたテーマに沿って分析・考察することができる。
	○	○				論文として成立するよう、定められた文章の形に添って自分の意見を交え、記述することができる。
	○		○	○		聞き手に分かりやすく説明し、聞き取りやすい声でプレゼンテーション(発表)をすることができる。
テキスト・教材 参考図書	プリント・書籍・インターネット					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	授業の説明と論文の書き方について			授業の主旨を正しく理解し、放課後の時間も使用しながら知識の習得をすること(2時間)	
	2	卒論作成①			授業の主旨を正しく理解し、放課後の時間も使用しながら知識の習得をすること(2時間)	
	3	卒論作成②			授業の主旨を正しく理解し、放課後の時間も使用しながら知識の習得をすること(2時間)	
	4	卒論作成③(途中経過提出)			授業の主旨を正しく理解し、放課後の時間も使用しながら知識の習得をすること(2時間)	
	5	卒論作成④			授業の主旨を正しく理解し、放課後の時間も使用しながら知識の習得をすること(2時間)	
	6	卒論作成⑤(途中経過提出)			授業の主旨を正しく理解し、放課後の時間も使用しながら知識の習得をすること(2時間)	
	7	卒論作成⑥			授業の主旨を正しく理解し、放課後の時間も使用しながら知識の習得をすること(2時間)	
	8	卒業研究発表会(卒論最終提出)			授業の主旨を正しく理解し、放課後の時間も使用しながら知識の習得をすること(2時間)	
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
評価方法	①卒業論文の提出(途中経過含む) ②卒業論文の発表					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	卒業論文の提出		◎			
	卒業論文の発表		◎	◎	○	
履修上の注意	提出物:卒業論文:A4用紙に10枚以上(表紙・画像や図表はカウントしない)					

科目名	実用英語ⅡB					
科目名(英)	Practical EnglishⅡB					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	玉川 久美子	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科2年					
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英検、TOEICの高資格取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を習得することを目標とする。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				文法、語法、語彙を理解して読むことができる
		○				特定状況下で話される内容を理解出来る
	○					TOEIC問題集にて60%以上の正答がとれる
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC公式問題集 ・TOEICリーディング問題集 ・TOEICリスニング問題集 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	文章中の情報をもとに構文ポイントを理解—リスニング、語彙、品詞			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	2	構文ポイントの理解—主述の一致、格、時制、態、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	3	構文ポイントの理解—前置詞、接続詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	4	構文ポイントの理解—準動詞(動詞を他の品詞に変えたもの)			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	5	構文ポイントの理解—不定詞、動名詞、分詞、リスニング①			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	6	構文ポイントの理解—不定詞、動名詞、分詞、リスニング②			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	7	構文ポイントの理解—慣用表現、形容詞、副詞、リスニング①			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	8	構文ポイントの理解—慣用表現、形容詞、副詞、リスニング②			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	9	構文ポイント理解—語法、構文、比較、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	10	構文ポイントの理解—関係詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	11	構文ポイントの理解—情報を関連づけての読み取り			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)	
	12	リスニング、長文読解—情報を関連づけての読み取り			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)	
	13	リスニング、長文読解—情報を見つけて意味を理解できる			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)	
	14	リスニング、長文読解—同義語を理解して言い換え表現ができる			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)	
	15	分野別問題答練—Part1、2、5、6(解法の確認)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	16	分野別問題答練—Part1、2、5、6(問題演習)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	17	分野別問題答練—Part3、5、6			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	18	分野別問題答練—Part3、7(解法の確認)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	19	分野別問題答練—Part3、7(問題演習)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	20	分野別問題答練—Part4、7(解法の確認)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	21	分野別問題答練—Part4、7(問題演習)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	22	分野別問題答練—Part1、2、5、6(模擬問題演習①)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	23	分野別問題答練—Part1、2、5、6(模擬問題演習②)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	24	分野別問題答練—Part3、5、6(模擬問題演習)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
25	分野別問題答練—Part3、7(模擬問題演習①)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)		

26	分野別問題答練—Part3、7(模擬問題演習②)	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
27	総合模試対策①—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
28	総合模試対策①—限られた時間範囲で問題を解く(解説)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
29	総合模試対策①—限られた時間範囲で問題を解く(重要事項確認)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
30	総合模試対策②—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
31	総合模試対策②—限られた時間範囲で問題を解く(解説)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
32	総合模試対策②—限られた時間範囲で問題を解く(重要事項確認)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
33	総合模試対策③—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
34	総合模試対策③—限られた時間範囲で問題を解く(解説)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
35	総合模試対策③—限られた時間範囲で問題を解く(重要事項確認)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
36	分野別問題弱点補強—解法ポイントの復習①	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
37	分野別問題弱点補強—解法ポイントの復習②	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)					
38	分野別問題弱点補強—解法ポイントの復習③	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)					
39	分野別問題弱点補強—解法ポイントの復習④	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)					
40	総合模試対策④—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
41	総合模試対策④—限られた時間範囲で問題を解く(解説)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
42	総合模試対策④—限られた時間範囲で問題を解く(重要事項確認)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
43	総合模試対策⑤—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
44	総合模試対策⑥—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)					
45	まとめ&質疑応答	確認テスト実施、事前の勉強をしておくこと。(1時間)					
<p>(1)授業の中で語彙テストを実施する。(2)課題を与える。(3)期末試験(筆記)を実施する。以上の観点、割合から総合評価する。 成績評価基準は内規に準ずる。</p>							
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意							

科目名	実用英語ⅡB					
科目名(英)	Practical EnglishⅡB					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	安元 千夏/中山 久豪	
実施年度	令和2年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科2年					
授業概要	国際化が進む中、航空業界をはじめサービス業界全般で英語能力が求められているため、英語運用能力の向上を目指す。それをはかる代表的な資格として、実用英語検定2級の取得を目標とする。またTOEIC500点以上取得を目指し、分野別問題解法ポイントを習得していく。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				高校卒業程度の基礎文法を理解し、文脈を正しく捉え読解できる。
	○	○				会話文・アナウンスの聞き取りを強化し、リスニング力を身に付ける。
	○	○				基本構文を用いた文章作成能力を高め、英作文力を身に付ける。
	○	○				ビジネス英語の基本語彙を身に付け、TOEIC頻出単語を覚える。
	○	○				通常会話で最低限のコミュニケーションをとることができるリスニング力を身に付ける。
テキスト・教材 参考図書	英検2級過去問題、プリント、TOEIC対策問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	レベルチェックテスト			特になし	
	2	語彙問題、リスニング				
	3	会話文問題、長文問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	4	長文問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	5	語彙問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	6	会話文問題、英作文対策、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	7	長文問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	8	英検対策まとめ			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	9	TOEIC part5基礎、リスニングpart1対策(解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	10	TOEIC part5基礎、リスニングpart1対策(重要文法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	11	TOEIC part5基礎、リスニングpart1対策(基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	12	TOEIC part5基礎、リスニングpart1対策(模擬問題演習)			模試の復習(1時間)	
	13	TOEIC part6基礎、リスニングpart1対策(解法の確認)			模試の復習(1時間)	
	14	TOEIC part6基礎、リスニングpart1対策(重要文法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	15	TOEIC part6基礎、リスニングpart1対策(問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	16	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	17	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(重要文法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	18	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	19	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(基礎問題演習②)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	20	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(応用問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	21	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(応用問題演習②)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	22	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(模擬問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	23	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(模擬問題演習②)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	24	TOEIC part5応用、リスニングpart3対策①			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	25	TOEIC part5応用、リスニングpart3対策②			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
26	TOEIC part5応用、リスニングpart3対策③			授業の復習と次回授業の予習(1時間)		

27	TOEIC part6応用、リスニングpart4対策①	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
28	TOEIC part6応用、リスニングpart4対策②	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
29	TOEIC part7応用、リスニングpart4対策①	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
30	TOEIC part7応用、リスニングpart4対策②	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
31	Part別解法のまとめ	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
32	模擬試験①(リスニング)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
33	模擬試験①(リーディング)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
34	模擬試験②(リスニング)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
35	模擬試験②(リーディング)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
36	模擬試験③(リスニング)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
37	模擬試験③(リーディング)	模試の復習(1時間)					
38	模擬試験④(リスニング)	模試の復習(1時間)					
39	模擬試験④(リーディング)	模試の復習(1時間)					
40	TOEIC総復習、受験時の注意	模試の復習(1時間)					
41	語彙問題、リスニング	模試の復習(1時間)					
42	会話文問題、長文問題、リスニング	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
43	長文問題、リスニング	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
44	模擬試験①	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
45	模擬試験②	授業の復習(1時間)					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	実用英語ⅡB				
科目名(英)	Practical English ⅡB				
単位数	6	時間数	90時間	担当者	山下満里
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科 2年生				
授業概要	エアライン業界にて必要な英語力の基盤を作る。具体的な方法としてTOEICを受験する。語彙力をつけるため毎回の単語のテストを行う。基本の文法を習得し読解力をつける。TOEIC対策としては語彙の増強、パートごとの対策。TOEICの英語をビジネスの現場で使える英語とする。TOEIC 500 を確実に超えるための基礎力をつける。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○				
	○				
	○				
目標	準2級に必要な単語の意味を答えることができる 準2級過去問題集リーディング・リスニング単元の正答数が80%以上になる TOEIC500点に必要な単語の意味を答えられる TOEIC500点レベルの問題集にて文章を読み取ることが出来る				
テキスト・教材 参考図書	一般財団法人 国際コミュニケーション協会 公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 4				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	公式問題集 4 Test 1 Listening Part			授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	2	公式問題集 4 Test 1 Readinging Part			授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	3	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7 (1)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	4	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7 (2)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	5	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7 (3)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	6	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7 (1)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	7	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7 (2)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	8	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7 (3)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	9	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7 (4)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	10	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7 (5)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	11	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7 (6)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	12	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7 (7)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	13	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7 (8)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	14	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7 (9)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	15	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7 (10)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	16	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7 (11)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	17	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7 (12)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	18	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7 (1)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	19	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7 (2)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	20	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7 (3)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	21	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7 (4)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	22	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7 (5)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	23	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7 (6)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	24	Listening Part 4	Reading Part 7	Double Passage (1)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	25	Listening Part 4	Reading Part 7	Double Passage (2)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	26	Listening Part 4	Reading Part 7	Double Passage (3)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
	27	Listening Part 4	Reading Part 7	Double Passage (4)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)
28	Listening Part 4	Reading Part 7	Triple Passage (1)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)	

29	Listening Part 4 Reading Part 7 Triple Passage (2)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
30	Listening Part 4 Reading Part 7 Triple Passage (3)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
31	Listening Part 4 Reading Part 7 Triple Passage (4)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
32	Listening Part 4 Reading Part 7 Triple Passage (5)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
33	Listening Part 4 Reading Part 7 Triple Passage (6)	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
34	Listening Part 1 Reading Part 6	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
35	Listening Part 2 Reading Part 5	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
36	Listening Part 3 Reading Part 7	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
37	Listening Part 4 Reading Part 7	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
38	公式問題集 3 Test 1 Listening	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
39	公式問題集 3 Test 1 Reading	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
40	公式問題集 3 Test 2 Listening	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
41	公式問題集 3 Test 2 Reading	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
42	公式問題集 4 Test 1 Listening	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
43	公式問題集 4 Test 1 Reading	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
44	公式問題集 4 Test 2 Listening	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
45	公式問題集 4 Test 2 Reading	授業で習ったことは十分に復習し、理解に努める(1時間)					
<p>(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>							
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意							

科目名	総合英語Ⅱ B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	江口美奈子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	国際線CAとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語力の土台となる品詞に対する理解を深め、TOEICのPart5と6の問題へのアプローチ方法を学び、実践していく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各品詞の働きを理解し、TOEIC Part.5/6の問題で正しい選択肢を選ぶことができる。	
		○				基本5文型を理解し、英文を正しく解釈し、意味を解釈することができる。	
		○				TOEIC Part.5/6に頻出の問題タイプを把握しておき、すぐに解法を判断できる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:アルク「TOEICに出る英文法出るとこだけ!」など						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	4大品詞(名詞・動詞・形容詞・副詞)の役割、基本品詞問題演習				前期の授業内容を復習しておくこと。(1時間)	
	2	本動詞と主語・動詞の対応				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	3	時制把握のルールと動詞選択				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	4	動詞選択問題の演習				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	5	接続詞と前置詞の違い				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	6	接続詞・前置詞選択問題の演習				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	7	Part5問題演習				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	8	名詞の働きをするカタマリ				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	9	形容詞の働きをするカタマリ				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	10	副詞の働きをするカタマリ				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	11	Part5問題演習のまとめ				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	12	空港・機内で使用する接客英語 ①チェックイン				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	13	空港・機内で使用する接客英語 ②アナウンス				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	14	空港・機内で使用する接客英語 ③機内サービス				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
15	後期まとめ				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)		
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト 宿題	◎	○		○		10% 10%
履修上の注意	英語辞書、プリント用ファイルを準備しておくこと。						

科目名	総合英語Ⅱ B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	山下 麻里		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(GA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語力の土台となる品詞に対する理解を深め、TOEICのPart5と6の問題へのアプローチ方法を学び、実践していく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各品詞の働きを理解し、TOEIC Part.5/6の問題で正しい選択肢を選ぶことができる。	
		○				基本5文型を理解し、英文を正しく解釈して意味をとることができる。	
		○				TOEIC Part.5/6に頻出の問題タイプを把握しておき、すぐに解法を判断できる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:アルク「TOEICに出る英文法出るとこだけ!」など						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	4大品詞(名詞・動詞・形容詞・副詞)の役割、基本品詞問題演習				前期の授業内容を復習しておくこと。(1時間)	
	2	本動詞と主語・動詞の対応				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	3	時制把握のルールと動詞選択				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	4	動詞選択問題の演習				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	5	接続詞と前置詞の違い				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	6	接続詞・前置詞選択問題の演習				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	7	Part5問題演習				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	8	名詞の働きをするカタマリ				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	9	形容詞の働きをするカタマリ				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	10	副詞の働きをするカタマリ				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	11	Part5問題演習のまとめ				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	12	空港・機内で使用する接客英語 ①チェックイン				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	13	空港・機内で使用する接客英語 ②アナウンス				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
	14	空港・機内で使用する接客英語 ③機内サービス				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)	
15	後期まとめ				必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。(1時間)		
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト 宿題	◎	○		○		10% 10%
履修上の注意	英語辞書、プリント用ファイルを準備しておくこと。						

科目名	総合英語ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	玉川 久美子		
実施年度	2020	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科・2年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語力の土台となる品詞に対する理解を深め、TOEICのPart5と6の問題へのアプローチ方法を学び、実践していく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					時制を理解し、日本語とは少し異なる時間の捉え方を学ぶことで英文を正しく理解することができる。	
	○					修飾の表現を理解し、英文を詳しく丁寧に相手に伝えることができる。	
		○				様々な表現方法を学び、表現の幅を広げ応用させることができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:学研「TOEICテスト書きこみノート文法編」						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	前期授業復習問題			前期で学んだ内容を復習し授業に臨むこと。(1時間)		
	2	助動詞の表現(応用編)			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
	3	前置詞まとめ			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
	4	現在完了形			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
	5	過去完了形			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
	6	未来完了形			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
	7	完了形まとめ問題、採点、解説			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
	8	現在進行形、過去進行形、未来進行形			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
	9	進行形まとめ問題、採点、解説			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
	10	名詞のかたまりを作る接続詞			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
	11	副詞のかたまりを作る接続詞			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
	12	接続詞まとめ問題、採点、解説			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
	13	空港で使える表現(単語編)			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
	14	空港で使える表現(会話編)			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
15	後期まとめ			復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	◎	○		○		10%
	宿題				◎		10%
履修上の注意	各授業の復習をしっかり行うこと。英語辞書を持参すること。						

科目名	総合英語ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上 舞		
実施年度	2020	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	国際線客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科・2年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語力の土台となる品詞に対する理解を深め、TOEICのPart5と6の問題へのアプローチ方法を学び、実践していく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					時制を理解し、日本語とは少し異なる時間の捉え方を学ぶことで英文を正しく読み取ることができる。	
	○					修飾の表現を理解し、英文を詳しく丁寧に相手に伝えることができる。	
		○				様々な表現方法を学び、表現の幅を広げ応用させることができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:高校英文法をひとつひとつわかりやすく						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期授業復習問題				前期で学んだ内容を復習し授業に臨むこと。(1時間)	
	2	助動詞の表現(応用編)				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	3	前置詞まとめ				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	4	現在完了形				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	5	過去完了形				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	6	未来完了形				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	7	完了形まとめ問題、採点、解説				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	8	現在進行形、過去進行形、未来進行形				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	9	進行形まとめ問題、採点、解説				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	10	名詞のかたまりを作る接続詞				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	11	副詞のかたまりを作る接続詞				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	12	接続詞まとめ問題、採点、解説				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	13	空港で使える表現(単語編)				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	14	空港で使える表現(会話編)				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
15	後期まとめ				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	◎	○		○		10%
	宿題				◎		10%
履修上の注意	各授業の復習をしっかりと行うこと。英語辞書を持参すること。						

科目名	総合英語ⅡB						
科目名(英)	General EnglishⅡB						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今長 まゆみ		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科・2年						
授業概要	TOEICや英検、日常会話の基本は中学・高校の英文法にある。本授業では、前期で学んだ中学、高校の英文法の知識を応用し、日常生活で的確に使えるようになることを目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				自分の身の回りのことなどを説明することができる。(話す)	
	○	○				相手の話すことを聞いて、理解することができる。(聞く)	
	○	○				簡単な説明文やメールなどを読んで、その内容を理解することができる。(読む)	
	○	○				自分の身の回りのことなどを文章で説明することができる。(書く)	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:アルク『Mr.Evineの中学英文法+αで話せるドリル』						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、実力確認テスト				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
	2	Unit01(SV/SVO)自動詞と他動詞の区別(1)、基本時制と関連表現				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
	3	Unit02(Sv/SVO)目動詞と他動詞の区別(2)、基本時制と完了時制				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
	4	Unit03(SV/SVO)目動詞と他動詞の区別(3)、助動詞の基本用法				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
	5	Unit04(SVO)他動詞+副詞パターン、助動詞を用いた表現				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
	6	Unit05(SVOO/SVO+for/to…)、受け身(受動態)				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
	7	Unit06(SVC)自動詞3パターン、準動詞(1)不定詞と動名詞				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
	8	Unit07(SVO+前置詞句パターン(1)、準動詞(2)分詞の表現				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
	9	Unit08(SVO+前置詞句パターン(2)、質問ツールとしての疑問詞				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
	10	Unit09(SVOC=形容詞・名詞)(1)、カタマリをつくる接続詞				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
	11	Unit10(SVOC=to Vg)(2)、比較級の表現				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
	12	Unit11(SVOC=原型不定詞Vg)(3)、関係詞の表現(1)				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
	13	Unit12(SVOC=分詞)(4)、関係詞の表現(2)				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
	14	前期試験対策復習問題(1)				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)	
15	前期試験対策復習問題(2)				間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを実施する。(3)数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	◎	○		○		10%
	宿題				◎		10%
履修上の注意	英語辞書を持参すること。配布プリントは各自ファイルなどで管理すること。 出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名 Subject Name	英会話 II B						
科目名(英) Same as Above	English Conversation II B						
単位数 Credits	2	時間数 Hours	30	担当者 Instructor	Eoghan Mac Coille, Keith Kelly		
実施年度 Year	2020	実施時期 Semester	2	実務家教員 担当科目 Instructor with Career in Subject Area			
対象学科・学年 Class	Airline 2a						
授業概要 Subject Description	1. Students can improve their English proficiency. 2. Students can gain confidence using English.						
授業形式 Class Format	講義: △ Lecture	演習: ○ Practice	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標 Targets	
	○					Students can improve their English proficiency.	
	○					Students can gain confidence using English.	
	○					Students can gain workplace related English skills.	
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References	Speakout Elementary Book 2						
授業計画 Class Schedules and Contents	回数	授業項目・内容 Topics and Contents				授業外学修指示 Preparation and Review	
	1	Introductions / Summer Vacation				none	
	2	9.3 Sorry I'm Late				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
	3	9.4 Teacher's Lesson or Airport				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
	4	9.5 Review				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
	5	10.1 Life's a Lottery				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
	6	10.2 Survive!①				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
	7	10.2 Survive!②				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
	8	Teacher's lesson or 10.4 Wild Weather				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
	9	10.5 Lookback				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
	10	11.1 I don't feel well				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
	11	11.2 One thing at a time				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
	12	11.3 Help!				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
	13	Teacher's less or 11.4 Fat or sugar				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
	14	Review and Practice for Speaking Test				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
	15	Speaking Test				Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)	
評価方法 Assessment Method	Students evaluation: (1) Test = 50% (2) In-class Tasks = 50%						
		言語情報 Language Info.	知的技能 Intellectual Skills	運動技能 Physical Skills	態度・意欲 Attitude/Ea gerness	その他 Other	評価割合 Percentage of Assessment
	定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
	小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%

履修上の注意 Remarks	Students will not receive a grade if they miss more than 5 classes.						

科目名	韓国語ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	盧愛連		
実施年度	2020年	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン・2年						
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に就職活動に役立つよう実力を身につけさせると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛り込み、国際人としての見識も備わるよう指導する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常会話だけでなく、就職においても役立つ語学力を習得し実践できる。	
	○	○				簡単な日常会話を話せるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	基礎から学ぶ韓国語						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期学習分 総おさらい その1					
	2	前期学習分 総おさらい その2 9課へ					
	3	9課 漢数詞					
	4	10課 固有数詞					
	5	漢数詞、固有数詞のまとめ					
	6	11課 尊敬形の学習					
	7	12課 ～行きません否定形					
	8	13課 過去形					
	9	中間まとめ 否定形、過去形					
	10	14課 勧誘の表現					
	11	気候、自然についての単語 15課 現在進行形					
	12	16課 可能、不可能の表現					
	13	16課 続き 身体の名称等					
	14	17課 ～がしたいの表現					
	15	18課 ～してもよいですかの表現					
評価方法	1. 授業中に小テストを回実施する。 2. 実力に(抜きん出ている生徒等は授業の他に検定試験に向けての指導をする。過去問題等を解かせたり、先に進めて別テストを行う 3. 授業中に小テストを期末テストと合わせ、平常点として加算する。 4. 成績評価 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上)D(50点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テストや授業態度	◎	○	○	○		50%
履修上の注意							

科目名	中国語ⅡB						
科目名(英)	Chinese						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	王		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	簡単な例文を朗読で大量に学ぶことで、無理なく楽しく文法を再確認しながら、活用できる表現の幅を広げていく。 単語、フレーズ、文章、伝達しようとする内容が中国語で自然に口をついて出てくるようになることを目標とする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				中国語の語彙を増やし、文法を理解し実践できるようになる。	
	○	○	○			簡単な日常会話ができる。	
	○	○	○			仕事の場面で使う様々な表現を覚えて、実践することができる。	
テキスト・教材 参考図書	中国語ははじめての一步						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	動詞のおさらいと形容詞を述語とする文 比較文など					
	2	形容詞の単語をマスターして、会話をする					
	3	練習プリントをする、それに基づいて自分のことを表現してみる					
	4	第5課 日付 時刻を表す表現 疑問詞					
	5	前時振返り 一日流れの単語を中国語で言ってみよう					
	6	練習プリントをする、それに基づいて自分のことを表現してみる					
	7	中国語で私の一日を発表すると質問タイム					
	8	小テスト 第6課文法ポイントをまとめる					
	9	前回の復習 助動詞を使う表現					
	10	単語で文を作って会話、本文の解釈と朗読					
	11	練習プリントをする、それに基づいて自分のことを表現してみる					
	12	小テスト 中国語で感想を言ってみる					
	13	第5課と第6課を復習 プリント					
	14	口頭試験					
15	学科総括						
評価方法	(1)口頭試験を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(口頭・筆記)	○	○	○			100%
履修上の注意							

科目名	一般教養ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	市原 美智子		
実施年度	2020年	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	社会人基礎力養成として、2年間の一般教養の授業の総まとめとして実施						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○				目標		
	○				主な国際機関について、その活動内容を理解し説明することができる		
	○				漢字検定2級程度の漢字の読み書きができる		
	○				英検準2級程度の問題に解答することができる		
					四則演算と基礎的なSPI問d内に正確に解答することができる		
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	科目概要・シラバス説明、第1回(国際機関とその活動、世界遺産)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	2	第2回 英文空所補充、英・日ことわざ				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	3	第3回 英文空所補充、SPI問題				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	4	第4回 漢字の知識、名数、歴史				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	5	第4回 英文空所補充、SPI問題				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	6	第5回 漢字の知識、読解問題、経済				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	7	第6回 漢字の知識、SPI問題、英文和訳				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	8	試験				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	9	第7回(漢字の知識、産業、英文空所補充、SPI問題)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	10	第8回(漢字の知識、歴史、英文空所補充)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	11	第8回(SPI問題、政治)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	12	第9回(漢字の知識、政治、英文和訳)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	13	第9回(SPI問題、経済)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	14	第10回(漢字の知識、読解問題、環境問題)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
15	まとめ(第7回～10回)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
評価方法	(1)定期試験 (2)宿題や課題 (3)出席状況と授業態度 以上を、以下の観点・割合で評価委する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○					80%
	出席状況				○		10%
	宿題・レポート(原稿用紙2枚以上/1回)	◎			○		10%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	Excel演習						
科目名(英)	Excel						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	山田 智子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	企業で最も使われているソフトの1つであるExcelの操作方法を習得する。Excelは統合型表計算のソフトウェアといわれ、表計算・グラフ作成・データベース機能を持っている。テキスト「30時間でマスターExcel2016」を使ってそれらの機能機能を学習する。テキストの内容に対して授業時間数が短いので、教科書に載っている一部の機能は割愛する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				Excelで作成ができ・印刷について正しく操作できる。	
		○				Excelでグラフの作成と編集ができる。	
		○				Excelでデータベース処理(並べ替えや抽出)ができる。	
	○					Excelで使われる正しい用語の説明ができる。	
○	○		○			IFやVLOOKUP等の応用のページに記載されている関数を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	30時間でマスター Excel2016						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Excelの概要、データの種類と入力方法					
	2	簡単な表の作成、データのコピー、練習問題				テキスト記載の実習問題1~4の表作成を完成させる(1.5時間)	
	3	基本のグラフ作成、練習問題				テキスト記載の実習問題1~4のグラフ作成と5~6の表作成を完成させる。(1.5時間)	
	4	表の編集(表の構成・書式設定・罫線)				テキスト記載の実習問題7~10を完成させる(1.5時間)	
	5	セルの書式設定・絶対参照を使う計算				テキスト記載の実習問題11~12を完成させる(1.5時間)	
	6	関数(Σから選べる関数)・COUNTA関数・セルの保護				テキスト記載の実習問題13~16を完成させる(1.5時間)	
	7	端数処理の関数、IF関数、条件付き書式、スパークライン				テキスト記載の実習問題17~20を完成させる(1.5時間)	
	8	第8章Excelの応用に記載の関数の一部・練習問題				テキスト記載の実習問題37~40を完成させる(1.5時間)	
	9	グラフ作成(棒・折れ線・円)				テキスト記載の実習問題21~26を完成させる(1.5時間)	
	10	グラフ(3Dグラフ、複合グラフ)				テキスト記載の実習問題27~29を完成させる(1.5時間)	
	11	グラフ(ドーナツ、レーダー、散布図、総グラフ) データベース(オートコンプリート、ふりがな機能)				テキスト記載の実習問題30~32を完成させる(1.5時間)	
	12	データベース(並べ替え・フィルタ)					
	13	印刷の設定、練習問題					
	14	練習問題					
15	期末試験実技						
評価方法	(1)テキスト「30時間でマスター Excel2016」内の実習問題を8割以上仕上げる。(毎月末、最終授業終了時にメモリ提出) (2)実技問題を期末試験とする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験実技	○	◎	○			50%
	(2)課題提出		◎	○	◎		50%
履修上の注意	5回以上の授業出席者は評価対象となるため、早期入社等で6回目以降の授業に出ない学生は、最終出席日にメモリを提出すること						

履修上の注意

に欠席を提出すること。

出席が10回に満たない場合は、評価はDとする。

科目名	プレゼンテーション演習						
科目名(英)	Presentation						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	山田 智子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	プレゼンテーションソフトであるPowerPointの操作方法を学習する。スライドの作成では、1年次に学んだWordの機能や後期に並行して学んでいるExcelの機能が利用できる部分が多いが、PowerPoint特有の機能もあるので、正しい操作方法を習得するようにする。別日に設けられている授業で作成している卒業論文をスライド化し発表する。 プレゼンテーションとは実際の発表を含めて総合的なスキルが必要なもので、立ち居振る舞い・発声・表情に至						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○				文字データを中心としたスライドを作成することができる。		
	○				グラフや表、スマートアートなどのオブジェクト類をスライドに挿入することができる。		
	○				アニメーション機能を効果的に使うことができる。		
	○				複雑な画像の加工や動画の挿入と編集ができる。		
	○	○		○	独自のプレゼンテーションを作成し、相手に伝わるように発表することができる。		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Power Pointの基礎知識、基本的なプレゼンテーションの作成					
	2	表の作成、グラフの作成					
	3	図形の作成、Smart Artグラフィックの作成					
	4	図・クリップアート・ワードアートの挿入					
	5	アニメーションの設定、画面の切り替え					
	6	練習問題(提出課題作成)					
	7	画像の加工					
	8	マルチメディアの活用					
	9	卒論プレゼンテーション作成.プレゼンテーション作成のポイント					
	10	卒論プレゼンテーション作成.発表に使える機能・データ収集					
	11	卒論プレゼンテーション作成.データ収集・作成					
	12	卒論プレゼンテーション作成					
	13	卒論プレゼンテーション作成.仕上げ					
	14	卒業論文をプレゼンテーション発表①					
15	卒業論文をプレゼンテーション発表②						
評価方法	後期前半ではスライドの作り方を学習するので、その成果として練習問題を完成させデータで提出する。後期後半では卒業論文をPowerPointでプレゼンテーションデータとして作成し発表するので、発表内容をデータと実際の発表で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題(練習問題)作成		◎		◎		50%
	プレゼンテーション作成・発表	○	◎		◎		50%

履修上の注意

5回以上の授業出席者は評価対象となるため、早期入社等で6回目以降の授業に出ない学生は、最終出席日にメモリを提出すること。
卒業論文の授業が別に設けられているので、早いうちにテーマと流れを決め文章作成と並行してプレゼンテーションを作成できるようにする。
出席が10回に満たない場合は、評価はDとする。

科目名	茶道						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	古田 時枝		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	茶道を学ぶ事で日本人としての感性と、所作を身につけ、社会人として基本的な作法を実践できるようになる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○	○	日本人としての感性を磨き、テストにて実践することができる。	
		○	○	○	○	社会人としてのマナー、所作を身に付け実践できる。	
		○	○	○	○	茶道の基本的な作法を理解し、説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション:和室での基本動作					
	2	席入り 茶菓の頂き方 割り稽古 袱紗					
	3	席入り 割り稽古 袱紗 茶巾					
	4	席入り 割り稽古 袱紗 茶巾 盆略点前(1)					
	5	席入り 割り稽古 袱紗 茶巾 盆略点前(2)					
	6	席入り 割り稽古 袱紗 茶巾 盆略点前(3)					
	7	席入り 盆略点前(1)					
	8	席入り 盆略点前(2)					
	9	席入り 炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い(1)					
	10	席入り 炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い(2)					
	11	席入り 炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い(3)					
	12	席入り 炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い(4)					
	13	席入り 炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い(5)					
	14	席入り 初釜					
15	まとめ、全体の流れを復習 実技テスト						
評価方法	実技試験にて評価を行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験		○	○	○	○	100%
履修上の注意							

科目名	社会教養ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	江口・平田・濱崎		
実施年度	2020	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	江口・国際線・国内線CAとして勤務 平田・濱崎・国際線GSとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	社会人になる前の心構えと、必要なマナーと知識を身に付ける。また、航空業界は多種多様なお客様に接する為、幅広い知識が必要である。出前講座を通し、様々な業種・職種の方から話を伺い、視野を広げることをねらいとする。本授業で学んだことがきっかけとなり、好奇心が芽生え、向学心に繋がることもねらいとする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○	○			社会人として必要なマナーと知識を身に付け、レポートにまとめることができる	
	○	○	○			習得した知識を使用しながら、分かりやすく説明できる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	動機付け・後期の目標設定			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
	2	出前講座①			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
	3	出前講座②			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
	4	出前講座③			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
	5	出前講座④			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
	6	出前講座⑤			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
	7	出前講座⑥			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
	8	出前講座⑦			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
	9	出前講座⑧			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
	10	レポート作成			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
	11	学内講座(江口)			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
	12	学内講座(平田)			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
	13	学内講座(濱崎)			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
	14	レポート作成			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)		
15	二年間の振り返り			授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)			
評価方法	(1)レポートを提出する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート提出		◎		○		100%
履修上の注意	予定は変更する可能性あり。 出前講座は企業・団体の都合によるため、決定後お知らせする。						